

上場デリバティブ²2026年4月稼働案件 に係る対応概要

1. 取引所の制度変更に伴う対応
2. VaR証拠金計算ロジックの改善に伴う対応



2025年11月28日

株式会社日本証券クリアリング機構

#	変更日	変更箇所	変更概要
1	2025/7/11	-	初版
2	2025/9/30	はじめに	対象となる清算資格を追記
		I -1.取引所の制度変更に伴う対応 (新商品の上場等)	OSEにおける東証銀行業株価指数オプション取引及び東証REIT指数オプション取引の通常限月取引の導入について追記 TOCOMにおける新規上場商品について追記
		II -1. 取引所の制度変更に伴う対応 (新商品コード等)	OSE・TOCOMにおける新規上場商品について更新
		III -1. 全体スケジュール	2025年9月更新版の公開について追記
		III -2. ドキュメント・ソフトウェアの公表スケジュール	各種ドキュメント・ソフトウェアの9月更新版について追記
3	2025/11/28	I -1.取引所の制度変更に伴う対応 (新商品の上場等) II -1. 取引所の制度変更に伴う対応 (新商品コード等)	愛称決定に伴い金/白金新商品の名称を更新

スライド右上に

更新

マークのあるページ：赤字箇所が更新箇所となります。

- 本資料は、2026年4月13日（月）に稼働を予定する以下の各案件について、制度及びシステムの対応概要をご説明するものです。

#	案件	概要	対象となる 清算資格	システム対応が 必要な方
(1)	取引所の制度変更 に伴う対応	新商品の上場等 指数先物等清算資格内の リスク相殺について	<div>- 指数先物等</div> <div>- 貴金属先物等</div> <div>- エネルギー先物等</div>	当該商品の清算を行う 清算参加者
(2)	VaR証拠金 計算方法の改善	VaR証拠金計算における 制限付リスク相殺等の計算方法見直し	<div>- 指数先物等</div> <div>- 国債先物等</div> <div>- 貴金属先物等</div>	VMAを利用するすべての 清算参加者及び投資者

- 本資料の対象参加者は、上場デリバティブの清算資格を保有する全ての清算参加者となりますが、上の表のとおり、案件により対象となる清算資格が異なりますので、ご注意ください。
- また、本案件に伴い**VaR証拠金計算ソフトウェア（以下「VMA」）**を利用するすべての**清算参加者及び投資者**におかれては、**新バージョン（v4.0）のVMAへの移行に係るご対応が必要**となります。

※本資料上は、ご対応をお願いする主体として「清算参加者」という表現を主に用いておりますが、VaR証拠金計算ソフトウェア（VMA）をご利用されている顧客（投資者）等へも、適宜本資料の内容をご連携いただきますようお願いいたします。

INDEX

I . 制度編	5
II . システム編	10
III . スケジュール	16

I. 制度編


1. 取引所の制度変更に伴う対応（新商品の上場等）

対象：

- 指数先物等

- 貴金属先物等

- エネルギー先物等



- 大阪取引所（以下、「OSE」）、東京商品取引所（以下、「TOCOM」）にて、以下の商品の新規上場等を予定しております。

更新

項目	清算資格	概要	備考
【OSE】 通貨先物取引の 新規上場	指数先物等	<ul style="list-style-type: none"> 以下の外国為替の価格を対象とした差金決済型の先物取引 <ul style="list-style-type: none"> - 米ドル/日本円 - 中国オフショア人民元/日本円 - ユーロ/日本円 3月、6月、9月及び12月の限月取引のうち5限月取引制 取引証拠金の計算方法は、HS-VaR方式 	<ul style="list-style-type: none"> OSE制度要綱は以下URL参照 https://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/um3qrc000001j0zq-att/FX_Futures_youkou.pdf
【OSE】 貴金属に係る 限日現金決済先物取引 のリニューアル	貴金属先物等	<ul style="list-style-type: none"> 金及び白金の限月現金決済先物取引（以下「ポケットゴールド100先物」及び「ポケットプラチナ100先物」）の新規上場 <ul style="list-style-type: none"> - 1限月制（一時的に2限月） - 取引証拠金の計算方法は、AS-VaR方式 金及び白金の限日現金決済先物取引（以下「限日取引」）の最終決済（取引休止） 	<ul style="list-style-type: none"> OSE制度要綱は以下URL参照 https://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/um3qrc000001ni5b-att/Reform_of_Cash-Settled_Rolling_Spot_Futures_on_Precious_Metals_J_youkou.pdf
【OSE】 東証銀行業指数OP・ 東証REIT指数OPの 通常限月設定	指数先物等	<ul style="list-style-type: none"> 東証銀行業株価指数オプション取引及び東証REIT指数オプション取引に通常限月取引(3月、6月、9月及び12月のうち、3限月取引制)を導入 	<ul style="list-style-type: none"> OSE制度要綱は以下URL参照 https://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d8/um3qrc0000023p1d-att/um3qrc0000023p3w.pdf
【TOCOM】 中部エリア・電力先物の 追加上場	エネルギー先物等	<ul style="list-style-type: none"> 電力先物に係る月間物取引及び年度物取引に中部エリアを追加 決済方法（カスケードイングを含む）、証拠金計算方式は、東エリア又は西エリアの月間物取引又は年度物取引と同様 	<ul style="list-style-type: none"> TOCOM制度要綱は以下URL参照 https://www.jpx.co.jp/rules-participants/public-comment/detail/d13/um3qrc000001rpm7-att/seidoyoukou.pdf

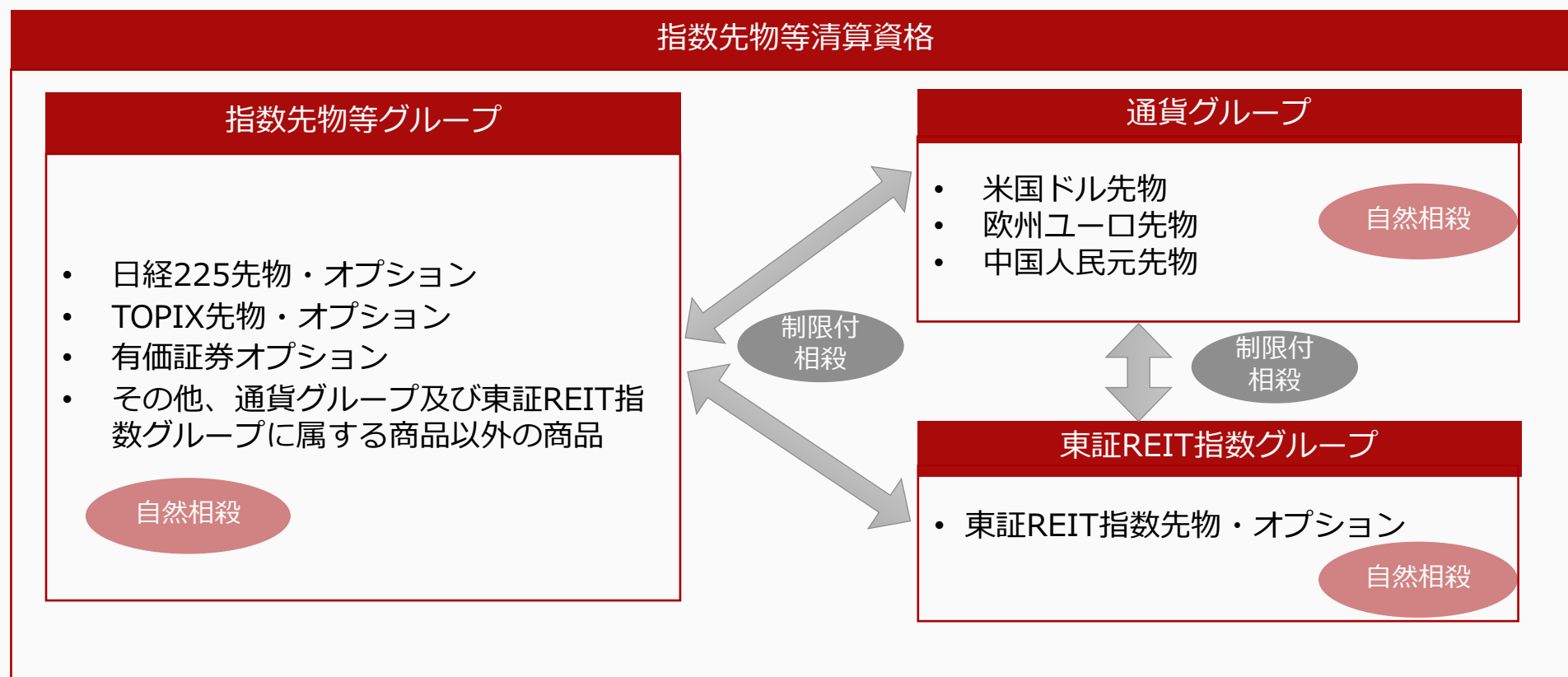
1. 取引所の制度変更に伴う対応 (指数先物等清算資格内のリスク相殺について)

対象

- 指数先物等



- 通貨先物の上場に伴い、商品間の価格変動の相関等を考慮し、指数先物等清算資格内のHS-VaR対象商品を「指数先物等グループ」、「通貨グループ」、「東証REIT指数グループ」に分け、グループ間のリスク相殺に一定の制限を適用します。
 - 各グループ内の商品間のリスク相殺に関しては、制限はありません（自然相殺）。
 - リスク相殺の制限に係るパラメータは今後通知します。



2. VaR証拠金計算方法の改善 (制限付リスク相殺等の計算方法の見直し)

対象：

- 指数先物等
- 国債先物等

- 貴金属先物等



- 今回、オプション商品を含む清算資格内でリスク相殺制限を適用するにあたり、相殺制限の計算対象を「VaR証拠金額」から「VaRリスク額」に変更します。
 - 現在、相殺制限は、ネットオプション価値（以下「NOV」）控除後の「VaR証拠金額」に適用する計算方法になっているところ、見直し後は、NOV控除前の「VaRリスク額」に適用します。
 - 見直し後の相殺制限の計算例については、次ページをご参照ください。
- これに伴い、「VaR証拠金額」は、制限付リスク相殺後の「VaRリスク額」からNOVを控除して算出します。
 - 現在、システム上、「VaR証拠金額」から「VaRリスク額」を算出していますが、見直し後は、「VaRリスク額」から「VaR証拠金額」を算出します。
 - 現行VMA（v3.0）と新バージョン（v4.0）との間で、オプション商品に関するVaRリスク額及びVaR証拠金額に差異が発生する可能性があります。

項目	VMA新バージョン（v4.0）	現行VMA（v3.0）
VaRリスク額	①VaR方式により計算した証拠金額(負も含む)+NOV (相殺制限適用) (0以上の整数)	②VaR証拠金額(負も含む)+NOV (負も含む整数)
VaR証拠金額	②VaRリスク額－NOV (0以上の整数)	①VaR方式により計算した証拠金額 (相殺制限適用) (0以上の整数)

(※1) ①②の番号はVMA内の計算順序を表しています。

(※2) 「VaR方式により計算した証拠金額」は、NOV控除後の金額です。

(参考) 制限付リスク相殺計算の具体例 (VMA4.0)

- ①式により制限付リスク相殺後のVaRリスク額を計算し、②式によりVaR証拠金額を計算

$$\text{① VaRリスク額(制限付リスク相殺後)} = \max(Y - a * (Y - X), b * Y)$$

X: VaRリスク額(相殺制限なしリスク相殺後):

Y: 各アグリゲーショングループごとに計算したVaRリスク額の合計

$$\text{② VaR 証拠金額 (制限付リスク相殺後)} = \text{VaRリスク額(制限付リスク相殺後)} - \text{NOV}$$

VaRリスク額: ポテンシャル・フューチャー・エクスポージャーに相当、NOV: ネットオプション価値

指数先物等清算資格

相殺制限なしリスク相殺

VaRリスク額 : 180

NOV: -70

VaR証拠金額: 250

相殺制限付リスク相殺

① VaRリスク額 : $\max(210 - 0.8 * (210 - 180), 210 * 0.65) = 186$

NOV: -70

② VaR証拠金額: $186 - (-70) = 256$

$a = 0.8$
 $b = 0.65$
とした計算例

指数先物等グループ

VaRリスク額 : 100

NOV: -50

VaR証拠金額: 150

通貨グループ

VaRリスク額 : 80

NOV: 0

VaR証拠金額: 80

東証REIT指数グループ

VaRリスク額 : 30

NOV: -20

VaR証拠金額: 50

Ⅱ. システム編

1. 取引所の制度変更に伴う対応（新商品コード等）

更新



- 新規上場される商品について、以下のコードが設定されます。

分類	商品	Product Group Code (BPF)	Product Code (BPF) /Product Type (上場派生清算システム)	Contract Period (*1) (BPF、上場派生清算システム)
通貨先物	米ドル/日本円先物	USDJPY	USDJPYF	YYYYMM
	中国オフショア人民元/日本円先物	CNHJPY	CNHJPYF	
	ユーロ/日本円先物	EURJPY	EURJPYF	
貴金属先物	ポケットゴールド100先物 (*2)	GOLDD	GOLDDF	YYYY12
	ポケットプラチナ100先物 (*2)	PLATD	PLATDF	YYYY12
指数オプション	東証銀行業株価指数オプション	TPXBK	TPXBKE	YYYYMM
	東証REIT指数オプション	REIT	REITE	YYYYMM
電力先物 (*3)	中部エリア・ベースロード電力先物	TCBL	TCBLF	YYYYMM
	中部エリア・ピークロード電力先物	TCPL	TCPLF	YYYYMM
	中部エリア・年度ベースロード電力先物	TCBLY	TCBLYF	YYYY04
	中部エリア・年度ピークロード電力先物	TCPLY	TCPLYF	YYYY04

(*1) YYYYは年、MMは月が設定されます。

(*2) VPFファイルに収録されるアグリゲーショングループは以下の通りです。

ポケットゴールド100先物 PME_GOLD_GOLDD

ポケットプラチナ100先物 PME_PLAT_PLATD

中部エリア・電力先物 ENG_EL_TC

1. 取引所の制度変更に伴う対応（VPFの変更）



- 指数先物等清算資格内のHS-VaR対象商品を「指数先物等グループ」、「通貨グループ」、「東証REIT指数グループ」に分け、グループ間のリスク相殺に一定の制限を適用するため、VPFに収録する0レコード及び1レコードを以下のとおり変更します。
- 変更後のサンプルファイルは、11月頃に公表いたします。

#Record ID	Record Name	Level	Aggregation Group	Confidence Level	Stress Scenario Number
			省略		
レコードを追加	VAR	L01	IDX	97.5	2
0	VAR	L02	IDX_CCY	97.5	2
0	VAR	L02	IDX_IDX	97.5	2
0	VAR	L02	IDX_REIT	97.5	2
			省略		

#Record ID	Record Name	Level	Aggregation Group	Parent Aggregation Group	Type	Number of Param	Param Name 01	Param Value 01	Param Name 02	Param Value 02
					省略					
1 レコードを追加	HSRATIO	L01	IDX		OFFSET_LIMIT	2	a	0.8	b	0.2
1	HSRATIO	L02	IDX_CCY	IDX	GROUP	0				
1	HSRATIO	L02	IDX_IDX	IDX	GROUP	0				
1	HSRATIO	L02	IDX_REIT	IDX	GROUP	0				
					省略					

各項目の設定値を変更
*Param Value01と02に設定する値は今後決定

1. 取引所の制度変更に伴う対応（限日取引の最終決済）

- 限日取引の最終決済は、以下の方法で行います。（金及び白金ミニ先物2026年12月限と同様の扱い）

#	項目	内容
1	最終決済を行う日 （以下、最終決済日）	2026年12月23日（水）
2	最終決済の対象建玉	最終決済日17時時点における限日取引の建玉
3	実施方法	<p>最終決済日の17時に、以下の処理を実施します。 （通常の銘柄に対して実施する満期処理と同様の処理です。）</p> <ul style="list-style-type: none">最終決済数値に基づいて最終決済に伴う値洗い差金を算出します。値洗い差金の算出後、対象建玉を消去します。

1. 取引所の制度変更に伴う対応（限日取引に係る情報配信）

- 最終決済日前後の価格情報の情報配信および証拠金計算用パラメータファイルへの収録は下表のとおりです。

#	項目	2026年12月22日以前 (取引最終日以前)	2026年12月23日 (最終決済日)	2026年12月24日以降
1	証拠金計算用パラメータファイル (以下、パラメータファイル) への収録	<ul style="list-style-type: none">限日取引の情報が通常通り収録されます。	<ul style="list-style-type: none">日中証拠金及び緊急証拠金（発動時のみ）のパラメータファイルには、限日取引の情報が収録されます。一方、EODおよび翌日用のパラメータファイルには、限日取引の情報が収録されません。	<ul style="list-style-type: none">限日取引と同じコード値で日中、緊急(発動時のみ)、EODおよび翌日用のパラメータファイルに収録されます。

2. VaR証拠金計算方法の改善

- 制限付リスク相殺等の計算方法の見直しに伴い、VMAを変更します。**VMAを利用するすべての清算参加者及び投資者におかれましては、ロジックの改善を反映するため、本番稼働日2026年4月13日以降は新バージョン（v4.0）のVMAをご利用ください。**
- 本番稼働前最終営業日の4月10日（金）以前に公開したリスクパラメータファイルをインプットにv4.0を用いて証拠金計算を行うと、オプションを含むポートフォリオに限って正しい証拠金額を算出することができません。（オプションを含まなければ正しい証拠金額が算出可能です。）
- 2026年4月10日以前に公表したリスクパラメータファイルについて、v4.0と互換性のあるファイルの提供予定はありません。
- 本改善によるVMA及び上場派生清算システムの接続仕様の変更はありません。

Ⅲ. スケジュール

1. 全体スケジュール

- 本対応の本番稼働予定日は2026年4月13日（月）とし、導入までのスケジュールは以下のとおりです。

	2025							2026			
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
マイルストーン							★VMA (v4.0版)公開			★本番稼働★	
資料公開 タイミング		★対応概要書（初版） ★VaR証拠金計算ソフトウェア接続仕様書（初版）				★対応概要書（更新版） ★VaR証拠金計算ソフトウェア接続仕様書（更新版）					
							★VMA（v4.0版） ★（本資料）対応概要書（最終版） ★VaR証拠金計算ソフトウェア接続仕様書（最終版） ★VaR証拠金ソフトウェア概要書 ★サンプルパラメータファイル（新商品対応版）				

2. ドキュメント・ソフトウェアの公表スケジュール

- 各種ドキュメント・ソフトウェアの公表スケジュールは以下のとおりです。

#	区分	公表物	掲載場所	公表時期
1	VMA	VaR証拠金ソフトウェア接続仕様書（初版）（*）	Target-JSCCサイト	2025年7月（提供済）
		VaR証拠金ソフトウェア接続仕様書（更新版）（*）	Target-JSCCサイト	2025年9月（提供済）
		VaR証拠金ソフトウェア接続仕様書（最終版）（*）	Target-JSCCサイト	2025年11月頃
		VaR証拠金ソフトウェア概要書	Target-JSCCサイト	
		VMA（v4.0版）（GUI/CLI/API）（*）	JSCC Web （CLI版、API版については対象者専用ページ）	
		証拠金計算用パラメータファイル（VPF、BPF、APF、SPF）新商品対応版サンプル	JSCC Web	

（*）API版については、VMAのAPI利用契約を締結した利用者の上に公開いたします。